

一般社団法人 薬学教育協議会

第 58 回理事会議事録

日 時： 令和元年 5 月 29 日（水） 15：00～16：45

場 所： 日本薬学会長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者： 別記 1

配付書類： 別記 2

○定足数について

理事総数 18 名中、出席者 15 名欠席者 3 名で、定款第 37 条に定める定足数を満たしている
るので、本日の理事会は成立すると本間代表理事が宣言した。

○議案

1. 平成 30 年度事業報告について

資料 1 に基づき、薬学教育協議会本部の事業について、平成 30 年度事業計画に沿って事業
を実施したと本間代表理事が説明した。また、支部も例年通り事業を実施していることを確
認したと本間代表理事が説明し質疑応答を行った。平成 30 年度事業報告は異議なく承認され
た。

2. 平成 30 年度決算報告について

資料 2-1、2-2 に基づき、薬学教育協議会本部および各支部の収支について、本部における
単年度赤字決算は解消され、現状では問題なく推移していると唐沢公認会計士事務所嶋崎氏
が説明した。平成 30 年度決算報告は異議なく承認された。

〈監事監査報告〉

資料 3 に基づき、上記の平成 30 年度事業報告および決算報告に対して、齊藤監事が
監査報告を行った。

平成 30 年度事業報告および平成 30 年度決算報告は異議なく承認された。

3. 顧問について

須田顧問は、第 52 回理事会（平成 30 年 5 月 30 日開催）において、一年間の任期で顧問
を引き受けたが、須田顧問には薬学教育協議会の運営に多大なるご尽力をいただいているこ
とから、通常の任期である令和 2 年 6 月の定時社員総会の終結の時まで、あと一年間顧問を
続けていただきたいと本間代表理事が提案した。

須田顧問の任期延長について、異議なく承認された。

4. 支部長候補者について

資料 4 のとおり、6 つの支部において支部長候補者が選出された。支部長候補者について
異議なく承認された。

なお、今回多くの支部で支部長が交代になったこと、また理事である支部長も交代になっ
たことで、理事会と支部の結びつきが薄くなることを懸念していると須田顧問が発言した。
については、その対応について今後協議して欲しいと提案した。

5. 学術正会員の任期について

公益法人協会へ定款変更の必要性等について相談したところ、資料 5 のように会員規則を改訂することに問題は無く、定款を変更する必要もないとの回答を得たと本間代表理事が報告した。

一部改正日は令和元年 5 月 29 日、施行日は令和元年 6 月 28 日（社員総会開催日）とすることを確認した（いずれも附則に記載）。また、文言を統一するため一部修正することになった。

規則の変更について異議なく承認された。

6. くすりの適正使用協議会について

くすりの適正使用協議会より退会の申し出があったが、今後も連携を続けていきたいと考えていることから、年会費をいただかない団体正会員 C に変更することを本間代表理事が提案した。団体正会員 B（年会費 10 万円）から団体正会員 C（年会費 0 円）に変更することについて異議なく承認された。

7. 社員総会議事次第について

資料 7 について異議なく承認された。

○報告事項

1. 理事の資格喪失に伴う辞任について

資料 8 に基づき本間代表理事が説明した。社員代表者交代に伴い、私立大西ブロックの理事が 3 名から 2 名になるが、定款施行細則第 2 号第 2 条において、西ブロック選出の理事は 2 名以上 3 名以内となっているので、定款上の問題はない。

2. 会員名簿の確認

2019 年度薬学教育協議会会員は、資料 9 のとおりであると報告した。

3. 薬学教育者ワークショップ実施委員会について

資料 10 に基づき、平田業務執行理事が報告した。

4. 薬学教育教科担当教員中央会議について

資料 11 に基づき、本間代表理事が報告した。文部科学省が日本薬学会に委託した「平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関する調査・研究」報告書について、日本薬学会のウェブサイトに掲載していると中村理事から情報提供があり、協議会のサイトにリンクを貼り周知に協力したいと本間代表理事が発言した。

5. 「薬学実務実習情報共有と課題検討シンポジウム」について

資料 12 に基づき、平田業務執行理事が報告した。

6. 東京薬科大学のワークショップについて

本間代表理事が実務実習における東京薬科大学のこれまでの活動の経緯を説明したのち、関東地区調整機構前委員長の伊東専務理事が現状と今後の対応方針について説明した。東京薬科大学からは、関東地区調整機構における実習生の割り振り等の活動に参加したいとの申し出があり、その対応策を進めていることを説明した。すなわち、東京薬科大学独自のワークショップで認定された指導薬剤師に対しては、受講したワークショップが、協議会が主催する従来型のワークショップの内容と遜色ないか薬学教育者ワークショップ実施委員会で確認し、認定希望の薬剤師には OBE（学習成果基盤型教育）に関する講座とアドバンストワークショップを受講してもらい、協議会から修了証を発行すること、また、東薬大の一部の学生について来年度の実習施設への割り振り作業を行うことを説明した。

7. 映画「ピア～まちをつなぐもの～」試写会について

映画「ピア～まちをつなぐもの～」の後援として試写会を行った。22名の参加者があったと本間代表理事が報告した。

8. その他

- 資料 10 と 11 の議事録の書き方について、捉え方によっては誤解を招く表現があるとの指摘があり、書き方について検討すると本間代表理事が答えた。
- 多職種連携に関して意見交換があった。

以上、相違ありません。

令和元年 7 月 8 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 本 間 浩
(押印済み)

監 事 三 輪 亮 寿
(押印済み)

監 事 齊 藤 勲
(押印済み)

別記 1

一般社団法人 薬学教育協議会 第 58 回理事会出席者名簿

	氏名（敬称略）	所属・役職	出欠
代表理事	本間 浩	北里大学	○
専務理事・業務執行理事	伊東 明彦	明治薬科大学特任客員教授	○
業務執行理事	平田 收正	大阪大学大学院薬学研究科	○
業務執行理事	望月 正隆	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部	○
理事	中山 和久	京都大学大学院薬学研究科	○
理事	土井 健史	大阪大学大学院薬学研究科	○
理事	国嶋 崇隆	金沢大学医薬保健研究域薬学系	○
理事	鍛冶 利幸	東京理科大学薬学部	○
理事	中村 明弘	昭和大学薬学部	○
理事	金澤 秀子	慶應義塾大学薬学部	○
理事	後藤 直正	京都薬科大学	○
理事	政田 幹夫	大阪薬科大学	欠
理事	山本 信夫	公益社団法人 日本薬剤師会	欠
理事	木平 健治	一般社団法人 日本病院薬剤師会	欠
理事	一條 秀憲	国公立大学薬学部長（科長・学長）会議	○
理事	井上 圭三	一般社団法人 薬学教育評価機構	○
理事	高倉 喜信	公益社団法人 日本薬学会	○
理事	白幡 晶	城西大学	○
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○
顧問	百瀬 和享	昭和大学名誉教授	○
顧問	須田 晃治	明治薬科大学名誉教授	○

別記 2 配付資料

＜配付資料＞

資料 1：平成 30 年度事業報告

資料 2-1：平成 30 年度財務諸表

資料 2-2：平成 30 年度収支計算書

資料 3：監事監査報告書

資料 4：支部長候補者一覧および届出書

資料 5：定款・会員規則・学術正会員に関する規程の変更案

資料 6：団体会員一覧、定款施行細則第 1 号（抜粋）

資料 7：第 17 回社員総会 議事次第（案）

資料 8：第 9 期役員名簿

資料 9：2019 年度会員名簿

資料 10：平成 30 年度薬学教育者ワークショップ実施委員会議事録

資料 11：平成 31 年度薬学教育教科担当教員中央会議議事録（案）

資料 12：薬学実務実習情報共有と課題検討シンポジウム プログラム

第 57 回理事会（書面による理事会）議事録